

Press Release

西武池袋本店、“新しい百貨店へ” 2025年夏にグランドリニューアルオープン

そごう・西武は、新株主のもとで事業戦略を再構築し、西武池袋本店の本格的な改装工事に着手します。2025年1月から段階的にリニューアルオープンを行い、同年夏にグランドオープンを予定しています。

常に時代の最先端を担ってきた西武池袋本店は、ご来店いただいたお客さまに上質との出会いをご提供し、特別な高揚感を与えられる百貨店を目指し、初めて館の全面改装をいたします。「INCLUSION（インクルージョン）」をテーマとし、現代の多様で柔軟な時代性に合わせ、「婦人」と「紳士」両方のカテゴリーを同一の店舗内に広く展開します。旧来の、婦人フロアと紳士フロアが分かれていた伝統的な“デパートメント（区分された）”ストアから脱却し、西武池袋本店は、池袋を訪れるさまざまなお客さまを、友人、カップル、家族と一緒にショッピングを楽しめる、自由で開かれた、かつ統一した空間でお迎えします。ワールドクラスのクオリティを誇る多彩なブランドショップと、上質な内外装で、池袋の街に新たな顔をつくり出します。

生まれ変わる西武池袋本店の全館および各フロアは、「MAISON（メゾン）」（フランス語で家・建物という意味）を建築デザインコンセプトとし、上質との出会いに相応しい「クラス感」と「洗練」、そして「アート」という3つの要素によって構成された空間をつくります。

マーチャндаイジング（MD）も、近年お客さまからもっとも支持されている領域である「ラグジュアリー」「コスメ」「デパ地下」を中心に強化します。「ラグジュアリー」では、世界のトップ約60ブランドを集結し、メンズ&レディース複合ショップで展開（売場面積 現状比約1.3倍）。「コスメ」は、パートナーとともに選べるユニセックスブランドを含む、国内外約60ブランドを展開（売場面積 現状比約1.7倍）。百貨店の顔とも言える「デパ地下」は、西武池袋本店のパワーコンテンツを集積し、新ブランドを含む約180ショップの展開を予定しています。そごう・西武の強みでもある、お客様向けの外商機能も今後さらに強化して参ります。

池袋は乗降客数世界3位のターミナル駅を有する世界トップクラスの優良マーケットです。その池袋を支える商業施設として、規模・内容ともにお客さまの満足を最大限ご提供できる本店としてのグレードを高め、国際アート・カルチャー都市として進化を続け、多くの方が訪れ、賑わいのある豊島区の玄関口の役割を担います。

ライフスタイルの多様化に合わせて、百貨店も進化を求められる時代を迎えました。従来の百貨店がもつ優れたサービスを残しつつ、お客さまのニーズに合わせた新たな価値を提供する、“新しい”西武池袋本店にご期待ください。

また、そごう・西武は今後、この西武池袋本店のコンセプトをそごう横浜店、そごう広島店などの他の店舗にも展開して参ります。新しい歴史を歩み始めた 新生「そごう・西武」にもご期待ください。

■店舗概要

- ・オープン予定 : 2025年1月から段階的に実施
- ・売場面積 : 約48,000㎡
- ・ショップ数 : 約380ショップ予定

■今後のオープンスケジュール

- ・地下1・2階、3階 (デパ地下・コスメ) : 2025年1月予定
- ・1・2階、4階～6階 (フレグランス・宝飾・時計・ラグジュアリー) : 2025年春予定
- ・7・8階 (ファッション・雑貨・催事場・アートサロン) : 2025年夏～秋予定



リニューアル後の正面玄関イメージ



リニューアル後の建築デザインコンセプト

* 改装期間中は、お客さま及び地域の皆さまには大変ご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、一日も早いグランドオープンを目指し安全を優先しながら進めて参りますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。